

## #参加者募集



来年5月15～19日は京都へ行こう！(早期割引受付中)

## WONCA APR Conference 2019 in Kyoto

WONCA(世界家庭医機構)のAPR Conference(アジア太平洋学術会議)が、来年5月、日本で開催されます。主催の日本プライマリ・ケア連合学会(以下PC学会)の第10回学術大会(雨森正記大会長)も併催され、以下の申込みによりどちらも参加可能です。

WONCA APRが初めて日本で開催されたのは2005年、14年ぶり2度目の京都開催となります。前回開催は、旧プライマリ・ケア学会に家庭医療学会・総合診療医学会が協力して開催し、これら3学会が合併するきっかけともなった歴史的出来事として語られます(詳細は本誌2017年1月号座談会「3学会合併と日本プライマリ・ケア連合学会の発足」参照)。「総合診療専門医」制度スタート翌年に開催される今回も、日本のプライマリ・ケアの未来を占う歴史的会議となるに違いありません。テーマは「Medical generalists: bringing forward a brighter future」です。この稀少な機会に、ふるってご参加ください。

**日時:** 2019年5月15日(水)～18日(土)

※第10回PC学会学術大会は5月17日(金)～19日(日)

**会場:** 国立京都国際会館(京都市左京区)

**演者(keynote speakers)**

**Sir David Haslam:** 英国のGP(general practitioner)で、英国の医療指針を発信するNICE(National Institute for Health and Care Excellence)の長。

**Prof. Felicity Goodyear-Smith:** ニュージーランドのGPで、Auckland大学のGeneral Practice and Primary Healthcare部門の教授。北米プライマリ・ケア研究会(NAPCRG)の国際委員会委員長やWONCAの研究グループの長も務める。

**飯野奈津子氏:** NHK解説主幹で、専門分野は社会保障。「患者本位の医療」に関心をもつ。

### 演題募集

シンポジウム・ワークショップ:11月30日(金)締切/一般演題:10月1日(月)～2019年1月15日(火)

**参加申込み** ※WONCA APR 2019に参加される方は、PC学会学術大会への参加登録は不要です。

**早期割引:** 10月1日(月)～2019年1月15日(火)

**通常:** 2019年1月16日(水)～3月11日(月)/直前:3月12日(火)～4月15日(月)

### 参加費

|         | 早期割引    | 通常      | 直前・当日   |
|---------|---------|---------|---------|
| 一般      | 55,000円 | 65,000円 | 75,000円 |
| 研修医・専攻医 | 20,000円 | 30,000円 | 40,000円 |
| 同伴者     | 15,000円 | 15,000円 | 15,000円 |

※参加費に含まれるもの: WONCA APR 2019 およびPC学会学術大会への参加・発表、5月15日(水) Welcome Reception

**申込み先:** <http://www.c-linkage.co.jp/woncaaprc2019kyoto/index.html>

**問合せ:** 株式会社コンベンションリンクージ内

〒604-8162 京都市中京区烏丸通六角下る七観音町 634

☎ 075-231-6357 FAX075-231-6354 ✉ [woncaaprc2019@c-linkage.co.jp](mailto:woncaaprc2019@c-linkage.co.jp)

